



365日、あなたにさまざまな発見と感動を。

ファミリーマートがめざすのは、

単なる便利を超えた、

これからの豊かさや喜びを提案できるコンビニです。

商品に、より高いクオリティと革新性を。

従来のサービスにとらわれない新しい試みを、次々と。

お客さまの気持ちにより近づき、その期待を超えていきたい。

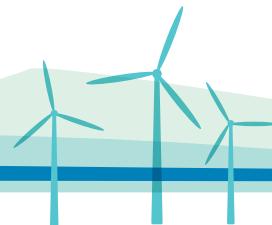
あなたと、もっと笑顔に、もっとコンビニに!

あなたの街のファミマはどんどん進化していきます。

第32期 報告書

2012年3月1日

▼
2013年2月28日



株主の皆さま、こんにちは。

この度、代表取締役社長に就任いたしました中山勇でございます。
日頃よりファミリーマートをご支援賜りまして、誠にありがとうございます。
ここに、当社第32期報告書（2012年3月1日から2013年2月28日まで）を
お届けするにあたり、一言ごあいさつ申し上げます。

2013年5月
代表取締役社長 中山 勇



2012年度のレビュー（2012年3月から2013年2月まで）

国内の消費環境は、所得の伸び悩みや将来に対する不安から、依然として先行き不透明な状況が続いており、小売業界全般でも大変厳しい状況となりました。このような状況下、当社は「いっしょに、笑顔。」をスローガンに、ホスピタリティ溢れるおもてなしでお客さまをお迎えできるよう取り組んでまいりました。さらに、社会構造の変化を踏まえ、コンビニエンスストア事業を基盤に、社会・生活インフラ企業として周辺事業の展開拡大にも積極的に取り組んでまいりました。

国内における取組みとして、商品面では本格的な素材と味わいにこだわった「GELATO（ジェラート）」と「ファミマプレミアムチキン」が、新たな看板商品としてご好評をいただき、計画を大幅に上回る販売数量を記録いたしました。10月から展開したプライベートブランド「FamilyMart collection」につきましては、日配品や日用品などの生活必需品を中心とした商品開発を行ったことで、中高年層や主婦層の来客頻度向上に寄与いたしました。さらに、「Sweets+（デザート）」などとの併売効果が高い「カウンターコーヒー」は、導入店舗を拡大するとともに、販売促進を強化してまいりました。

プロモーション面におきましては、吉本興業株式会社との共同取組「いっしょに、笑顔。プロジェクト」を展開し、同社所属芸人による地域限定イベントや商品開発などを実施したほか、バーチャルアイドル「初音ミク」やアイドルグループ「ももいろクローバー

Z」など、注目度の高いコンテンツとのコラボレーション展開が大きな反響を生み、店舗への集客と売上に貢献いたしました。

運営面におきましては、個店毎の「立地」と「使われ方」に合わせて各店舗を分類し、それぞれの特徴に合わせた最適な売場づくりに取り組んだほか、サラダ・惣菜・日配・青果などの品揃えを強化して、広がる客層需要に対応してまいりました。

店舗展開におきましては、三大都市圏と地方中心都市を重点とした成長性の高い店舗の出店に加え、マーケットの変化に対応したB&S（ビルド&スクラップ）を適宜実施することで、高質な店舗網の構築を進めました。また、「東京スカイツリータウン」などの商業施設内や、「多摩都市モノレール」「神戸市営地下鉄」「大阪市営地下鉄」などの駅構内に積極的に出店してまいりました。

その他、4月に高齢者専門宅配弁当「宅配クック ワン・ツウ・スリー」フランチャイズ本部の運営等を展開する株式会社ニアライフクリエイトを子会社化し、12月には同社店舗網と配送網を活用して、ファミリーマートが取り扱う商品の宅配サービスを一部地域にて開始いたしました。

一方、海外事業につきましては、中食商品等の開発を進めるとともに、お客さまに満足いただける売場づくりを推進してまいりました。タイでは事業展開を加速していくため、9月に現地最大の小売企業セントラルグループを事業パートナーとするス



キーム再編を実施いたしました。また韓国では、大都市を中心とした積極出店を継続するとともに、既存ファミリーマートの「CU with FamilyMart」への転換を行いました。さらに、中国では、上海・広州・蘇州・杭州の各地域に加えて、6月から成都への出店を開始するとともに、インドネシアにおいても10月に1号店を出店いたしました。フィリピンでは、「Philippine FamilyMart CVS, Inc.」を設立し、12月には同社との間でエリアフランチャイズ契約を締結いたしました。

これらの結果、2012年度末の国内店舗数は、国内エリアフランチャイザー4社を含め9,481店舗となりました。また、海外店舗数は台湾、韓国、タイ、中国、アメリカ、ベトナムおよびインドネシアを合わせて12,700店舗となり、国内外合計で22,181店舗となりました。

2012年度の連結業績につきましては、営業総収入334,087百万円（前期比1.5%増）、営業利益43,107百万円（同1.2%増）、経常利益45,410百万円（同1.3%増）、当期純利益25,020百万円（同50.9%増）と増収増益となり、連結・単体ともに各利益段階で過去最高益を更新いたしました。

なお、期末配当は中間期公表の1株当たり54円とし、通期では前期より18円増配の100円となります。

2013年度の取組み

2013年度は「次の10年を決める勝負の年」と位置付け、中期経営計画として掲げている2015年度の「連結経常利益600億円」「グローバル25,000店」達成に向け、取り組んでまいります。その上で、さらなる高みを目指すべく「クオリティにおいて国内NO.1」、そして「規模においてグローバルNO.1」を次なる目標としてまいります。また、「もっと笑顔に、もっとコンビニ。」をスローガンに、コンビニエンスストアに求められる役割・機能を十分に認識し、利便性に加え、お客さまの期待を超える商品とサービスをお届けしてまいります。

商品面では、2つの商品群を軸とした戦略を展開してまいります。まず1つ目は「FamilyMart collection」です。テ

レビCMでの大々的な訴求とともに、品揃えの幅を約500アイテムに広げ、日常使いの「レギュラーライン」から高付加価値の「プラチナライン」まであらゆるお客さまのニーズに幅広く対応してまいります。そして、2つ目に「ファスト・フード」です。大ヒットした「ファミマプレミアムチキン」を始め、「カウンターコーヒー」の全国展開等、魅力ある商品を順次ラインナップしてまいります。

運営面におきましては、コンビニエンスストアに対する期待を超える「高質接客」を基点に、「補充推奨発注システム」の本格導入に取り組むことにより、適正な品揃えを実現して集客と売上の向上を目指してまいります。

店舗展開におきましては、近畿日本鉄道株式会社との業務提携に基づく鉄道駅構内売店のファミリーマート店への転換を含め、ニューマーケットへの積極的な出店を継続してまいります。また、ドラッグストア一体型店舗、イートインコーナー設置型店舗、サテライト型店舗など多様な店舗形態により、過去最大の出店を進めてまいります。2013年度末における国内店舗数は国内エリアフランチャイザー4社を含め、10,707店舗を計画しております。

海外におきましては、引き続きアジアを中心に、日本発祥のコンビニエンスストアチェーンとして蓄積してきた当社独自のノウハウやITシステムを活用したビジネスモデルを送り出すことで、当該地域の小売業の近代化に貢献してまいります。また、既存進出地域における出店を積極的に行うことで、海外店舗数は13,671店舗を計画しております。これらにより国内外合計で24,378店舗を目指してまいります。

通期の連結業績見通しにつきましては、営業総収入354,100百万円（前期比6.0%増）、営業利益45,100百万円（同4.6%増）、経常利益47,800百万円（同5.3%増）、当期純利益22,500百万円（同10.1%減）を見込んでおります。

次期の配当につきましては、通期で1株当たり102円と9期連続の増配を予定しております。

株主・投資家の皆さまにおかれましては、今後ともよろしくご支援賜りますようお願い申し上げます。



こだわり商品情報

「FamilyMart collection」 2つのラインで好評発売中

ファミリーマートのプライベートブランド (PB) 「FamilyMart collection」 (ファミコレ) は、発売以来ご好評をいただいております。日常お使いになる商品を、高品質でお買い求めやすい価格に設定した「レギュラーライン」には、カット野菜、チルド飲料、調味料や日用雑貨など約290アイテム、素材や製法のグレードを上げた高付加価値商品の「プラチナライン」には「おとなのスープ」「おとなのおやつ」など約40アイテムをラインナップいたしました。今後さらに様々なカテゴリーで品揃えの充実を図ってまいります。

※アイテム数は2013年2月末日現在

こだわりの素材とひと手間。 プラチナライン



中身と価格がうれしい。レギュラーライン



FamilyMart collection



「ファミマプレミアムチキン」が レギュラーメニューに

数量限定で発売していた「ファミマプレミアムチキン」(プレチキ)を、2013年3月からレギュラーメニューとして発売いたしました。計画を大幅に上回る販売を記録し、一時お買い求めをお待ちいただくを得なかった超人気商品です。ファミリーマート史上最高品質のチキンとして、自信を持っておすすめいたします。

FAMIMA
PREMIUM
CHICKEN
ファミマプレミアムチキン



あじわい Famima Café

カウンターコーヒーを本格展開

オリジナルブランド『あじわい Famima Café』から、いつでも“挽きたて”&“淹れたて”のおいしさがお楽しみいただけるカウンターコーヒーの本格展開を開始し、全国に順次拡大しております。ドイツ製エスプレッソ抽出式のコーヒーマシンを使用し、メニューによってコーヒー豆を使い分けて、一杯ずつ淹れたてのおいしさを24時間提供いたします。





世界に広がるファミリーマート

● タイ事業の拡大

1992年（1号店開店1993年）からSiam FamilyMart Co., Ltd.（サイアムFM）※を中心にタイでの事業を展開し、店舗数の拡大とともにタイ事業全体において黒字基盤を確立させ、業績を順調に伸ばしておりますが、タイでの事業拡大をさらに加速させるため、この度、タイ国内で百貨店やスーパーマーケットなどを幅広く展開し、タイのマーケットを熟知する総合小売業最大手のCentral Retail Corporation Limited（CRC）と共同してタイ

事業を進めていくことといたしました。

これまでサイアムFMが20年間培ってきたタイにおける日本流のコンビニエンスストア運営ノウハウに加え、CRCが持つ店舗開発力、商品開発力、物流などのインフラ機能等の資産を最大限に活かすことでシナジーを発揮し、今後5年で1,500店体制、10年で3,000店体制を目指してまいります。

※サイアムFMは2013年4月30日をもってCentral FamilyMart Co., Ltd.に商号変更いたしました。



● インドネシアに初出店

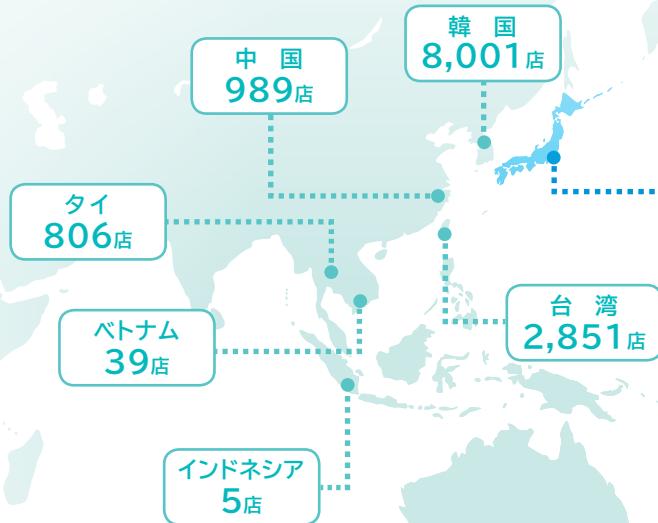
2012年10月に、インドネシア1号店を開店いたしました。インドネシアにおいては、消費財製造大手であるWingsグループの100%子会社であるPT. FAJAR MITRA INDAH社とエリアフランチャイズ契約を締結し、ファミリーマート事業を推進してまいります。今後の成長が見込まれるインドネシアでは、まずその首都であるジャカルタ都市圏を中心に店舗展開を進めてまいります。



インドネシア（1号店）



店内の様様



● フィリピンに初出店

2012年11月、ファミリーマートと伊藤忠商事株式会社、AyalaグループとRustanグループの合弁会社SIAL CVS RETAILERS, INC.の3社は、フィリピンにおけるファミリーマート店舗の展開について合弁契約を締結、さらに12月に現地法人を設立し、2013年4月に1号店を開店いたしました。東南アジアでタイ、ベトナム、インドネシアに次ぐ4カ国目の出店となり、今後本格展開してまいります。



フィリピン(1号店)



店内の様様

ファミリーマートチェーン国内地域別店舗数

●北海道/58	●石川/82	●岡山/102
●青森/47	●福井/92	●広島/179
●岩手/101	●山梨/70	●山口/52
●宮城/216	●長野/74	●徳島/59
●秋田/58	●岐阜/92	●香川/85
●山形/92	●静岡/204	●愛媛/98
●福島/132	●愛知/476	●高知/37
●茨城/195	●三重/133	●福岡/386*
●栃木/134	●滋賀/115	●佐賀/61*
●群馬/88	●京都/199	●長崎/144*
●埼玉/486	●大阪/890	●熊本/122*
●千葉/420	●兵庫/352	●大分/84*
●東京/1,712	●奈良/66	●宮崎/88
●神奈川/667	●和歌山/71	●鹿児島/216
●新潟/58	●鳥取/47	●沖縄/220
●富山/74	●鳥根/47	

※JR九州リテール株式会社が展開するファミリーマート店舗(福岡県:79店舗、佐賀県:5店舗、長崎県:5店舗、熊本県:19店舗、大分県:19店舗)を、店舗数に含めております。

ファミリーマートチェーン店舗数

国内店舗数 9,481店
海外店舗数 12,700店

合計 22,181店

(2013年2月末日現在)

日本
9,481店

アメリカ
9店

株式会社ファミリーマート 8,772店

国内エリアフランチャイザー 709店

海外エリアフランチャイザー 12,700店



便利な
サービス

「Amazon店頭受取サービス」を全国のファミリーマート店舗で開始

“Amazon.co.jp”で購入した商品を全国のファミリーマートで24時間店頭受取・代金支払ができる「Amazon店頭受取サービス」を、2012年10月から開始いたしました。書籍、DVD、家電、生活雑貨から食品まで幅広い品揃えの総合オンラインストア“Amazon.co.jp”でのお買い物に対応し、ご自宅でお荷物の受け取りが難しいお客さまのご要望にお応えすることで、さらなる利便性の向上に努めてまいります。



Amazon、Amazon.co.jp、およびAmazonロゴは、Amazon.com, Inc.またはその関連会社の商標です。

CSR活動

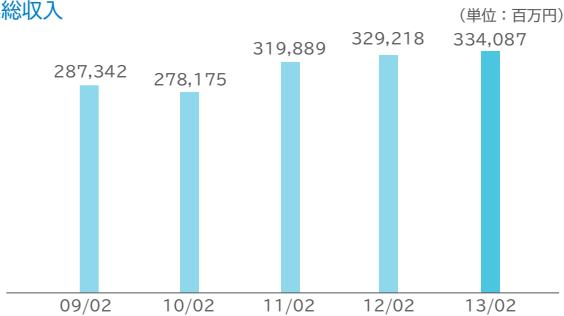
環境配慮型店舗「ファミリーマート船橋金杉店」オープン

環境配慮型の次世代フラッグシップ店舗として、「ファミリーマート船橋金杉店」（千葉県船橋市）を、2013年2月にオープンいたしました。余剰電気を非常電源として備えることができるファミリーマート初の「太陽光発電+リチウムイオン蓄電池システム」など、最新鋭の省エネ設備等を備え、「環境負荷低減」、「災害時の営業継続」、「新技術の活用」の検証を目的としております。これらの検証を重ねて、他店にも導入可能な機器に関しては積極的に拡大し、ファミリーマート全体の電気使用量削減を目指してまいります。



業績の推移 (連結)

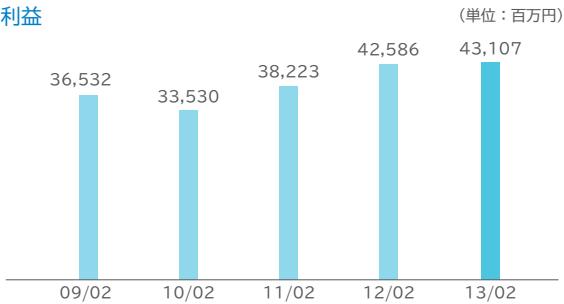
営業総収入



総資産および純資産



営業利益



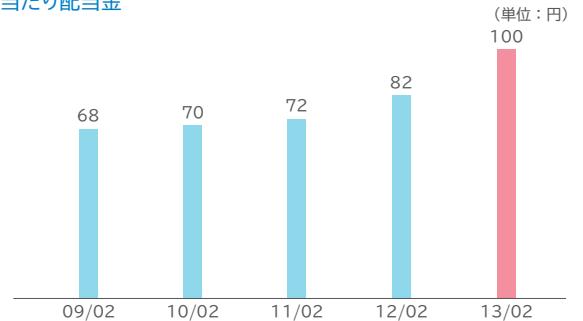
ROE (自己資本当期純利益率)



経常利益および当期純利益



1株当たり配当金



8期連続の増配となりました。

連結財務諸表

連結貸借対照表(要約)

(単位：百万円)

科目	当連結会計年度 (2013年2月28日)	前連結会計年度 (2012年2月29日)
【資産の部】		
流動資産		
現金及び預金	88,227	94,812
加盟店貸勘定	14,644	11,107
有価証券	51,080	42,325
商品	8,161	7,913
前払費用	9,789	9,024
繰延税金資産	2,389	3,167
未収入金	30,238	31,802
その他	22,354	17,455
貸倒引当金	△243	△257
流動資産合計	226,642	217,352
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	40,028	33,111
機械装置及び運搬具	4,775	4,009
工具、器具及び備品	47,838	38,376
土地	16,267	13,996
その他	244	681
有形固定資産合計	109,154	90,175
無形固定資産		
ソフトウェア	9,955	9,320
のれん	5,322	380
個店営業権	4,246	4,800
その他	884	1,172
無形固定資産合計	20,409	15,674
投資その他の資産		
投資有価証券	36,947	26,936
繰延税金資産	6,241	6,339
敷金及び保証金	117,895	108,213
その他	12,193	11,148
貸倒引当金	△2,894	△3,019
投資その他の資産合計	170,383	149,619
固定資産合計	299,947	255,469
資産合計	526,589	472,822

科目	当連結会計年度 (2013年2月28日)	前連結会計年度 (2012年2月29日)
【負債の部】		
流動負債		
支払手形及び買掛金	75,489	74,566
加盟店借勘定	4,731	4,789
リース債務	7,696	5,360
未払金	21,785	20,217
未払費用	5,986	5,627
未払法人税等	14,392	5,066
預り金	74,318	67,242
その他	3,660	2,851
流動負債合計	208,062	185,722
固定負債		
リース債務	35,271	27,996
退職給付引当金	8,070	7,514
資産除去債務	12,694	11,909
長期預り敷金保証金	10,457	9,900
その他	3,878	3,840
固定負債合計	70,371	61,160
負債合計	278,434	246,883
【純資産の部】		
株主資本		
資本金	16,658	16,658
資本剰余金	17,389	17,389
利益剰余金	213,580	196,913
自己株式	△8,752	△8,743
株主資本合計	238,875	222,218
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,628	239
為替換算調整勘定	△1,526	△4,197
その他の包括利益累計額合計	101	△3,958
少数株主持分	9,178	7,679
純資産合計	248,155	225,939
負債純資産合計	526,589	472,822

*記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書(要約)

(単位：百万円)

科目	当連結会計年度 (自2012年3月1日 至2013年2月28日)	前連結会計年度 (自2011年3月1日 至2012年2月29日)
営業収入	229,022	219,205
売上高	105,065	110,013
営業総収入	334,087	329,218
売上原価	72,987	77,061
売上総利益	32,077	32,951
営業総利益	261,099	252,156
販売費及び一般管理費	217,992	209,570
営業利益	43,107	42,586
営業外収益	3,333	3,011
営業外費用	1,030	787
経常利益	45,410	44,810
特別利益	4,511	4,326
特別損失	5,414	17,853
税金等調整前当期純利益	44,507	31,283
法人税等	17,735	13,052
少数株主損益調整前当期純利益	26,772	18,230
少数株主利益	1,751	1,646
当期純利益	25,020	16,584

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

(単位：百万円)

科目	当連結会計年度 (自2012年3月1日 至2013年2月28日)	前連結会計年度 (自2011年3月1日 至2012年2月29日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	64,638	72,900
投資活動によるキャッシュ・フロー	△46,236	△20,746
財務活動によるキャッシュ・フロー	△16,088	△14,188
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,678	△996
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	3,991	36,968
現金及び現金同等物の期首残高	133,157	95,486
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	-	702
現金及び現金同等物の期末残高	137,148	133,157

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結株主資本等変動計算書 当連結会計年度(自2012年3月1日 至2013年2月28日)

(単位：百万円)

	株主資本				株主資本合計	その他の包括利益累計額			少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式		その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	その他の包括 利益累計額合計		
当期首残高	16,658	17,389	196,913	△8,743	222,218	239	△4,197	△3,958	7,679	225,939
当期変動額										
剰余金の配当			△8,353		△8,353					△8,353
当期純利益			25,020		25,020					25,020
自己株式の取得				△9	△9					△9
自己株式の処分		0		0	0					0
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)						1,388	2,670	4,059	1,498	5,558
当期変動額合計	-	0	16,666	△8	16,657	1,388	2,670	4,059	1,498	22,216
当期末残高	16,658	17,389	213,580	△8,752	238,875	1,628	△1,526	101	9,178	248,155

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

単体財務諸表



貸借対照表(要約)

(単位：百万円)

科目	当事業年度 (2013年2月28日)	前事業年度 (2012年2月29日)
【資産の部】		
流動資産		
現金及び預金	69,005	75,647
加盟店貸勘定	14,644	11,064
有価証券	50,896	42,197
商品	2,245	2,005
前払費用	9,514	8,639
繰延税金資産	2,198	2,941
未収入金	26,056	27,960
立替金	10,882	8,277
短期敷金	7,370	6,748
その他	2,395	1,680
貸倒引当金	△178	△240
流動資産合計	195,031	186,923
固定資産		
有形固定資産		
建物	27,632	23,661
構築物	4,198	3,121
機械及び装置	4,762	4,007
工具、器具及び備品	39,331	31,368
土地	10,694	10,465
その他	164	12
有形固定資産合計	86,783	72,636
無形固定資産	13,774	14,457
投資その他の資産		
投資有価証券	15,281	11,849
関係会社株式	26,866	24,225
関係会社長期貸付金	950	950
長期前払費用	8,386	7,787
繰延税金資産	8,413	8,188
敷金	115,067	105,616
その他	3,498	2,898
貸倒引当金	△3,351	△3,401
投資損失引当金	△5,852	△9,615
投資その他の資産合計	169,259	148,499
固定資産合計	269,817	235,593
資産合計	464,849	422,516

科目	当事業年度 (2013年2月28日)	前事業年度 (2012年2月29日)
【負債の部】		
流動負債		
買掛金	4,885	4,452
加盟店買掛金	61,568	60,072
加盟店借勘定	3,908	4,225
リース債務	7,671	5,341
未払金	17,907	16,911
加盟店未払金	1,840	1,595
未払費用	2,346	2,411
未払法人税等	13,603	4,449
預り金	56,501	54,313
その他	1,450	1,585
流動負債合計	171,686	155,360
固定負債		
リース債務	35,234	27,949
退職給付引当金	7,423	7,015
資産除去債務	12,661	11,689
長期預り敷金	5,814	6,024
その他	3,331	2,976
固定負債合計	64,466	55,655
負債合計	236,152	211,015
【純資産の部】		
株主資本		
資本金	16,658	16,658
資本剰余金		
資本準備金	17,056	17,056
その他資本剰余金	331	331
資本剰余金合計	17,388	17,388
利益剰余金		
利益準備金	2,668	2,668
その他利益剰余金		
別途積立金	170,253	165,753
繰越利益剰余金	28,871	17,539
利益剰余金合計	201,793	185,961
自己株式	△8,752	△8,743
株主資本合計	227,087	211,264
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,608	236
評価・換算差額等合計	1,608	236
純資産合計	228,696	211,501
負債純資産合計	464,849	422,516

*記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

損益計算書(要約)

(単位:百万円)

科 目	当事業年度 (自2012年3月1日 至2013年2月28日)		前事業年度 (自2011年3月1日 至2012年2月29日)	
営業収入		202,835		195,097
加盟店からの収入		182,777		175,482
その他の営業収入		20,058		19,615
売上高		68,084		79,351
営業総収入		270,919		274,449
売上原価		48,370		57,135
売上総利益		19,713		22,216
営業総利益		222,549		217,314
販売費及び一般管理費		183,614		179,033
営業利益		38,935		38,281
営業外収益		3,477		3,122
営業外費用		942		752
経常利益		41,470		40,650
特別利益		5,049		4,344
特別損失		6,472		18,914
税引前当期純利益		40,047		26,080
法人税、住民税及び事業税		16,103		4,398
法人税等調整額		△241		7,359
当期純利益		24,186		14,321

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

株主資本等変動計算書 当事業年度(自2012年3月1日 至2013年2月28日)

(単位:百万円)

	株主資本										評価・換算差額等 其他 有価証券 評価差額金	純資産合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			自己株式	株主資本 合計	其他 有価証券 評価差額金		
		資本準備金	其他資本 剰余金	資本剰余金 合計	利益準備金	其他利益剰余金 別途積立金	利益剰余金 合計					
当期首残高	16,658	17,056	331	17,388	2,668	165,753	17,539	185,961	△8,743	211,264	236	211,501
当期変動額												
別途積立金の横立						4,500	△4,500	-				
剰余金の配当							△8,353	△8,353		△8,353		△8,353
当期純利益							24,186	24,186		24,186		24,186
自己株式の取得									△9	△9		△9
自己株式の処分			0	0					0	0		0
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)											1,372	1,372
当期変動額合計	-	-	0	0	-	4,500	11,332	15,832	△8	15,823	1,372	17,195
当期末残高	16,658	17,056	331	17,388	2,668	170,253	28,871	201,793	△8,752	227,087	1,608	228,696

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

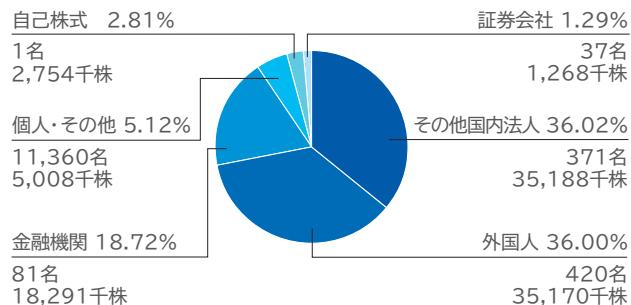
株式の状況 (2013年2月28日現在)



株式の状況

発行可能株式総数…………… 250,000,000株
 発行済株式の総数…………… 97,683,133株
 株主数…………… 12,270名

株式分布状況



大株主の状況

氏名または名称	持株数	持株比率
伊藤忠商事株式会社	29,941千株	31.54%
株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ	2,930千株	3.08%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	2,538千株	2.67%
株式会社みずほ銀行	2,085千株	2.19%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口9)	2,026千株	2.13%
日本生命保険相互会社	1,964千株	2.06%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	1,946千株	2.05%
THE CHASE MANHATTAN BANK, N.A. LONDON SECS LENDING OMNIBUS ACCOUNT	1,532千株	1.61%
THE BANK OF NEW YORK, TREATY JASDEC ACCOUNT	1,362千株	1.43%
JP MORGAN CHASE BANK 380055	1,239千株	1.30%

※持株比率は、発行済株式の総数から自己株式数を減じた株式数 (94,928,545株) を基準に算出しております。

会社概要 (2013年2月28日現在)



商号	株式会社ファミリーマート (英文社名 FamilyMart Co., Ltd.)
本店所在地	〒170-6017 東京都豊島区東池袋三丁目1番1号
設立年月日	1981年9月1日
資本金	166億58百万円
事業目的	フランチャイズシステムによるコンビニエンスストア事業
チェーン全店売上高(単体)	1兆5,845億58百万円(2012年度)
店舗数	22,181店(国内外エリアフランチャイズ含む)
従業員数	3,364名
国内エリア フランチャイザー	株式会社沖縄ファミリーマート 株式会社南九州ファミリーマート 株式会社北海道ファミリーマート JR九州リテール株式会社
海外エリア フランチャイザー	全家便利商店股份有限公司(台湾) Siam FamilyMart Co., Ltd.(タイ王国)※ BGFretail Co., Ltd.(大韓民国) FAMIMA CORPORATION(アメリカ合衆国) 上海福満家便利有限公司(中華人民共和国) 広州市福満家連鎖便利店有限公司(中華人民共和国) 蘇州福満家便利店有限公司(中華人民共和国) 杭州頂全便利店有限公司(中華人民共和国) 成都福満家便利有限公司(中華人民共和国) VI NA FAMILYMART CO., LTD.(ベトナム社会主義共和国) Philippine FamilyMart CVS, Inc.(フィリピン共和国) PT. FAJAR MITRA INDAH(インドネシア共和国)

※Siam FamilyMart Co., Ltd.は2013年4月30日をもって
Central FamilyMart Co., Ltd.に商号変更いたしました。

役員(2013年5月23日現在)

取締役

代表取締役会長	上田 準二
代表取締役社長	中山 勇
専務取締役 専務執行役員	宮本 芳樹
常務取締役 常務執行役員	加藤 利夫 高田 基生 小坂 雅章 和田 昭則 小松崎行彦 玉巻 裕章
取締役 常務執行役員	竹林 昇

監査役

常勤監査役	田辺 則紀 館岡信太郎
監査役	高岡 美佳 岩村 修二

執行役員

常務執行役員	上野 和成 中平 義人 平田 満次
上席執行役員	伊藤 勝夫 倉又 輝夫 岩切 公愛 杉浦 真 青木 実
執行役員	鈴木 久 植松 美昭 藤森 正美 坂崎 佳樹 木暮 剛彦 三澤 健司 杉浦 正憲 山下 純一 市川 透 井上 淳 丸山 直美 澤田 浩 菊池 潔 前西 潤一 三浦 英樹 森田 英次 小野塚喜和 吉田 俊也 池田 知明 阿部 邦明 飯塚 隆

株主メモ

事業年度	毎年3月1日から翌年2月末日まで
定時株主総会	毎年5月
剰余金の配当の基準日	毎年2月末日および8月31日
公告方法	当社のホームページに掲載いたします。 http://www.family.co.jp/
上場金融商品取引所	東京証券取引所（第一部）
単元株式数	100株
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063
郵便物送付先(※)	東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先(※)	☎ 0120-782-031(フリーダイヤル)
(インターネット ホームページURL)	http://www.smtb.jp/personal/ agency/index.html

(※) 2013年1月より郵便物送付先・電話照会先が上記のとおり変更となっております。

【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】

証券会社の口座をご利用の場合は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。

証券会社の口座のご利用がない株主さまは、上記電話照会先までご連絡ください。

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」（株式会社証券保管振替機構）を利用されていなかった株主さまには、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座（特別口座といいます。）を開設しております。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

ホームページの紹介

ファミリーマート

検索

<http://www.family.co.jp/>



ホームページでは、商品情報のほか、ニュースリリース、CSR活動、投資家情報など当社に関する各種情報を公開しております。

IRメール配信サービス

IR情報や主なニュースリリースを電子メールでお知らせいたします。ぜひご登録ください。

http://www.family.co.jp/company/investor_relations/mail_service/

トップページ

企業情報

投資家情報

IRメール配信サービス



ファミリーマートは日本株主サービスのサポーターカンパニーです。



10840217(04)
JISQ15001:2006準拠



読みやすさを追求した書体



ミックス
責任ある水産資源を
使用した紙
FSC® C013080

